

令和2年第3回定例公安委員会会議録

開催日時 令和2年1月30日(木) 午前11時10分～午後2時45分

開催場所 警察本部

第1 定例会議

1 開催時間 午後1時30分～午後2時35分

2 出席者

公安委員会 小谷委員長 衣笠委員 勝部委員

警察本部 津田警察本部長 伊貝警務部長 谷村首席監察官
長谷高生活安全部長 松岡刑事部長 柳清交通部長
牧田警備部長 竹森警察学校長 妹尾情報通信部長
樋口警務部参事官

(事務局等～中嶋公安委員会補佐室長、畔田広報官、中田補佐)

3 議題事項

4 報告事項

- 令和2年度当初予算案(警察関係)の概要(警務部)
- 2月補正予算案(警察関係)の概要(警務部)
- 大会出場予定(警務部)
- 懲戒処分等の状況及び随時監察の実施結果(令和元年度第3四半期)(警務部)
- ストーカー・DV事案の対応状況(令和元年中)(生活安全部)
- インターネット教育スキルアッププロジェクト等の実施結果(生活安全部)
- 冬山遭難救助訓練の実施(生活安全部)
- 2月中の入校及び行事概況等(警察学校)

(1) 令和2年度当初予算案（警察関係）の概要（警務部）

警察本部

知事内示前の金額となるが、来年度の当初予算要求額は約169億円であり、今年度より約6億4,500万円の増額である。内訳は、職員人件費が約75パーセントを占め約127億円、物件費が約25パーセントを占め約42億7,000万円である。

主な事業概要は、総合的な犯罪抑止対策の推進に関するものでは、交番相談員、スクールサポーター、生活安全相談員を継続配置するとともに、サイバー空間の脅威に的確に対応するため、サイバー犯罪捜査員の養成、解析用資機材の整備等を継続して行う。

重要犯罪等の検挙と組織犯罪対策の推進に関するものでは、新たな刑事司法制度への対応として、引き続き、録音・録画装置を計画的に更新する。新規事業としては、繊維鑑識等の信頼性向上と迅速な事案対応のため、必要な資機材を整備するほか、人質立てこもり事案等において、特殊事件指揮車を現場指揮所としての機能を果たすことができるよう改造する。

交通死亡事故抑止に資する総合対策の推進に関するものでは、運転適性相談員を増強配置するほか、シルバー・セイフティ・インストラクターの継続配置、デジタル式飲酒検知器の増強整備、信号機の新設等を行う。新規事業としては、子どもの通行が多い生活道路等における速度取締りが可能な、可搬式速度違反自動取締装置を整備する。

テロの未然防止と緊急事態対策の推進に関するものでは、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等の開催を見据え、引き続き国際テロ対策の研修や警備実施の研修を行う。新規事業は、聖火リレー開催に伴う警備対策である。

警察活動基盤の充実強化に関するものでは、交番・駐在所の計画的な改修及び建替え整備を引き続き行うほか、犯罪被害者等に対する支援の推進、採用試験SPIの導入及び警察本部施設中長期保全計画に基づく施設改修を継続して行う。新規事業としては、他県における交番・駐在所勤務員に対する襲撃事案等を受け、県下全交番にカウンターパネルを設置するなどの安全対策を行うほか、警察庁の警察移動無線通信システムの統合・更新事業に合わせ、県費整備の無線機を更新する。

厳しい財政状況ではあるが、費用対効果を考えつつ、安全で安心な鳥取県のために県民の期待にこたえていきたい。

委員

限られた予算ではあるが、引き続き、県民のための活動をお願いします。

公用車交通事故について報告を受けるが、中には、車にバックセンサーが整備されていれば、防げた可能性がある交通事故もある。費用の問題もあると思うが、全ての車両にバックセンサーを整備することを検討していただきたい。

警察本部

公用車交通事故については、研修等も含め様々な対策を行っているが、いまだに発生している現状である。ハード面の対策として検討する。

(2) 2月補正予算案（警察関係）の概要（警務部）

警察本部

補正予算の総額は、約3億9,300万円の減額である。内容は、職員人件費の決算見込みに基づく不用額の減額補正、各種事務委託費等の決算見込み及び入札による執行残額等に基づく不用額を減額補正する。また、信号機設置工事の入札不調、道路工事（直轄）の計画変更による関連工事について、年度内の完了が困難となったため、信号機設置工事、信号制御機製造工事及び可変式標識移設工事並びに道路標示塗装工事を翌年度へ繰越するため、繰越明許費を設定する。

補正後の警察費予算総額は、約159億4,000万円である。

委員

職員人件費の減額補正は、働き方改革等により、時間外勤務が減少したのか。

警察本部

昨年は、みどりの愛護のつどいなどの大きな行事があり、多めに予算を見込んでいたため、不用額を減額補正するものである。

(3) 大会出場予定（警務部）

警察本部

本年2月2日、倉吉市営武道館において開催される「令和2年鳥取県柔道選手権大会・鳥取県女子柔道選手権大会」に、県警察から男性9人、女性1人が出場予定である。

この大会は、体重無差別によるトーナメント方式の個人戦を行う。男女共に4位までの入賞者は、本年3月8日に山口県において開催される全日本柔道選手権大会・全日本女子柔道選手権大会中国地区予選会への出場権を獲得する。

委員

日頃の訓練の成果が発揮できるよう頑張っていただきたい。期待している。

(4) 懲戒処分等の状況及び随時監察の実施結果（令和元年度第3四半期）（警務部）

警察本部から、令和元年度第3四半期の懲戒処分等の状況及び随時監察の実施結果について報告がなされた。

委員

施錠の確認等の細かい部分も含め、引き続き、適切な随時監察を行っていただきたい。

(5) ストーカー・DV事案の対応状況（令和元年中）（生活安全部）

警察本部

昨年の県内におけるストーカー事案の相談件数は64件であり、昨年からは横ばいではあるが、平成26年の181件をピークに減少傾向にある。ストーカー規制法違反の検挙件数は3件、禁止命令は5件、警告は7件であった。いずれも前年より増加しているが、事案の危険性や切迫性を慎重に判断し、必要な措置を執ったものである。

配偶者からの暴力事案（DV）の相談件数は106件であり、昨年より34件、約24パーセント減少した一方で、DV事案の検挙件数は29件と、前年より6件増加した。検挙罪種としては、暴行、傷害事件が多くを占めた。

引き続き、危険性等を判断して被害者の安全を第一に考え、対処する。

委員

警察には相談をしにくいと感じる人もいると思う。対応される際は、安心して相談できる雰囲気を作っていただきたい。

委員

この種案件は相談件数だけで判断できない部分もあるが、警察を信頼しているからこそ、相談される方が多いと思う。より県民に信頼される警察となるよう、適切に対応していただきたい。

DVについては、児童相談所がからむ案件もあると思う。児童相談所へ警察官が出向して約半年経過するが、児童虐待への対応等も含め、状況を聞きたいため、報告の場を設けていただきたい。

警察本部

承知した。

(6) インターネット教育スキルアッププロジェクト等の実施結果（生活安全部）

警察本部

本年1月24日、倉吉体育文化会館において、県教育委員会との連携啓発活動として、インターネット教育スキルアッププロジェクト等を実施した。

これは、県内の教職員、県警察職員、少年スクールサポーターなど、インターネット教育に携わる人材を育成し、児童・生徒のインターネット利用に伴う犯罪被害防止を図ることを目的としており、2部構成で行った。

第1部は、教職員情報モラル教育研修を行い、県教育委員会による研修のほか、県警察のサイバー犯罪対策課員による県内情勢に関する研修を行った。

第2部は、インターネット教育スキルアッププロジェクトとして、IPA（独立行政法人情報処理推進機構）インターネット安全教室が行われた。これは、令和元年度の経済産業省の補助金事業としてIPAが全国展開する取組であり、民間講師から、ネット社会における子どもの現状と啓発の重要性を題材とした講話を聴講したほか、IPA制作の教材を使った模擬授業等を通してインターネット教育実施要領について学んだ。また、第15回IPA「ひろげよう情報モラル・セキュリティコンクール2019」授賞式も行った。これまで、「ひろげよう情報モラル・セキュリティコンクール」の授賞式は警察本部において行っていたが、多数の県内教職員が出席する研修内で実施することにより、情報モラル教育推進事例として示し、同コンクールを活用したインターネット教育の推進を図った。

引き続き、インターネット教育に係る人材育成や、サイバー犯罪被害防止に向けた広報啓発活動を県教育委員会、IPAなどと連携して積極的に推進していく。

委員

コンクールの作品は、ポスターも標語も素晴らしいものだと思う。このような作品を活用し、広く広報していただきたい。

(7) 冬山遭難救助訓練の実施（生活安全部）

警察本部

本年1月20日、21日の2日間、大山において冬山遭難救助訓練を実施した。

これは、冬山において遭難が発生した際、迅速、的確な捜索及び救助活動を行うことを目的とし、鳥取県山岳・スポーツライミング協会員を講師に招き、鳥取県警察大山遭難広域救助隊員等を対象とした救助訓練を実施した。

初日の訓練では、冬山（大山山系）の特徴等の講義や、装備品の取扱要領、低体温症対処訓練、要救助者搬送訓練等を実施した。2日目は、スノーポート搬送訓練、雪中歩行訓練、雪崩発生時の要救助者捜索訓練等を実施した。

訓練参加者からは、「冬山の特徴、装備品の取扱要領、救助に際しての注意点等について理解を深めることができた。有事の際は的確に対処したい。」などの感想があった。

引き続き、山岳パトロールを通して山岳事故の未然防止を図るとともに、有事

の際は同訓練を生かして、迅速、的確な救助活動をしていく。

委員

本年は降雪量も少なく、冬山に対する危険意識も低くなるかもしれないので、注意点等を広く広報していただきたい。特に若い人に向けては、SNSなどを用いた広報が効果的だと思う。

(8) 2月中の入校及び行事概況等（警察学校）

警察本部

昨年4月に入校した初任科第90期は、2月3日に卒業を迎える。卒業後は県内の警察署において、5月7日まで職場実習を行う。

2月中の入校関係は、初任補修科第37期に対する採用時教養及び二つの部門別任用科を引き続き行うほか、新たに二つの専科が入校する。

初任科第90期関係では、昨年12月に警護訓練を実施したほか、1月には大山における冬山遭難救助訓練を行った。当日は積雪が30センチメートル程あり、事故等なく訓練を終えた。初任科生からは、「冬山登山の危険性を身を持って感じた。」などの感想があった。

初任補修科生は、1月に実施した鑑識初級検定に全員合格した。2月は、捜査書類検定を予定している。

5 その他

第2 その他の公安委員会活動

1 意見の聴取

運転免許課から、道路交通法に基づく意見の聴取5件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

2 聴聞

運転免許課から、道路交通法に基づく聴聞1件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

3 事前説明

- ・被疑者取調べの監督の実施状況（令和元年中）
- ・令和元年度警察官採用状況
- ・ストーカー・DV事案の対応状況（令和元年中）
- ・米子警察署観音寺新町交番の設置

4 報告事項

公用車交通事故の発生状況（令和元年度第3四半期）

5 決裁

鳥取県警察署協議会関係

6 公安委員会補佐室との昼食会

7 公安委員会委員間の事前検討・協議等

8 公安委員会補佐室からの事務連絡等

公安委員会補佐室から当面の行事予定等について確認と説明があり、了承した。